

BCAO静岡地域勉強会 議事録

1. 開催概要

(ア) 開催日: 2009年10月16日(金)18:00~20:00

(イ) 場所: 静岡男女共同参画センター あざれあ 4階 第2会議室

(ウ) 議事録作成者: 奥山

(エ) 出席者: 16名

朝倉、石井、尾石、大鐘、角野、河原崎、北川、木戸、桐原、高橋、野末、宮角、森、細坪、平吾、奥山
(順不同・敬称略)

2. 議題

机上演習「新型インフルエンザのシミュレーション訓練」

次回の開催予定確認

3. 議事内容

机上演習「新型インフルエンザのシミュレーション訓練」

ファシリテーター C M P O事務局長 細坪信二氏

ワークショップ形式(テーブルトップ・エクササイズ)で2チームを編成し開催した

目的は、

1. 現状の(H1N1)新型インフルエンザが国内で変異・新たなタイプの(H?N?)新型インフルエンザの第一感染者が自社内で出た場合の対応策を検討する

2. 強毒性・弱毒性の違いにより、企業としてどのような違いがあるのかを検証する

シミュレーションは、

模擬会社としてBCM食品株式会社で社員50名程度の企業

期間は、当日、1日後、3日後の3日間

Aチームは営業本部長、Bチームは受付の女性が発症する

ファシリテーターから、発症情報、マスコミ報道情報、マスコミ問合せ情報等が提供され、各チームは予防対策、拡大防止対策、工場閉鎖、工程閉鎖等のディスカッションを行った

誰も、休憩したいと言い出さないほど熱のこもったディスカッションが続けられたが会場の都合で

やむなくシミュレーションを終了させ、各チームの社長役が代表でチームのディスカッション内容を発表し、最後に細坪信二氏からAチームへは「強毒性」、Bチームへは「弱毒性」の情報を発信した

が各チームの対応には差がなかったことを含め、講評を頂いた

講評のポイント

ウイルスの強毒性・弱毒性による新型インフルエンザBCPの差は殆どない

新型インフルエンザBCPの起動は、地震の震度5以上とか新型インフルエンザのフェーズではなく、社内的な基準が必要である

次回の開催予定

日時: 11月19日(木)18:00~21:00

会場: 静岡県男女共同参画センター あざれあ 4階 第2会議室

議題:

会員活動報告 & 意見交換

その他(未定)

次々回の予定

日時: 12月15日(火)18:00~19:00

会場: 静岡県男女共同参画センター あざれあ 4階 第1会議室

議題:

会員活動報告 & 意見交換(1年を振り返り)

勉強会終了後 静岡駅近郊で打上げ会を開催します